



真剣に聞き入る参加者



大島分会は拡大月間最終の仲間に共済の大終週の10月24日に共済学切さを話し参加を要請し習会を開催しました。30ました。

当日は群長さん、組合員の開催を目標に分執、集約、群会議、訪問行動員さん、女性の会、喜楽の説明、75歳以上の組合員さんへの宿泊旅行費補助・インフルエンザ予防接種補助・長寿記念品がある等、共済の豊富な制度に参加者の皆さんから質問も相次ぎ、どんな共済の魅力をつぶりと話し合う90分でした。

終了後は拡大運動の最後の訴えです。残り1週間、最後まで頑張ると中田分会長・高梨執行委員が檄を飛ばす傍らで分会オクルクの富樫社保対部長が深く頷いていたのが印象的な学習会でした。

大島分会
金谷 修

手作り料理を楽しみに



拡大頑張りました！

2018年の秋の拡大行動も無事終わる事が出来ました。

四砂分会も期間目標4パーセントを達成することができ行動最終日は打ち上げをしました。

拡大期間中は毎回10人近くの組合員さんが参加してくれて、まずは四砂分会に所属してくれている事業所を訪問し、世間話から始まりそれから対象者はいませんかや、国保加入の方には健康診断

の受診を勧め、常に話題をアナウンスして歩きまわりました。

夜に訪問出来ない

四砂分会 佐原 晶子

と、昼間に近隣の建設現場に行つては作業員に声をかけて地道に拡大行動をしてきました。

拡大は大変でしたが楽しみがありました。それは石川分会長のお手製のおつまみや加藤さんがつめたおつけものなどが並びました。

毎回思うことは、拡大は大変ですが仲間を増やすことで仕事や生活の充実、保障を良くしていくかないと若年労働者も増えていきません。若い人を掘り起こす為にも拡大の大切さを、年を重ねる毎に強く思いました。

皆様ご苦労さまでし



きれいな夜景とともに

深中分会秋の拡大と組合活動協力者を増やそうとの思いで、組合員である仲間の訪問、対話を進めて行くことを考え屋形船イベントを企画。組合の訪問グッズや屋形船チラシなども持って組合員の家を一軒一軒と訪問し誰か知り合いに組合加入できそうな人を紹介して下さいと回りました。拡大目標達成まではなんとか到達しましたが残念ながら拡大行動に参加する人は増えませんでした。

拡大イベントの屋形船は44名の参加で10月28日午後6時に船宿に集合し、船に乗り込むともうテ

深中分会 秋の拡大とイベント

ブルの上には色々な料理が用意されていました。全員がテーブルに付き出後後分会長が立ち上がり挨拶と乾杯の音頭でさっそく宴会の始まり。船は隅田川に出て海洋大学の前を通り永代橋方面と進め清洲橋、松尾芭蕉で有名な萬年橋の前でUターンして下流へ。富士見丸の女将による色々な橋のエピソードや、先日閉場となった築地市場の説明の話を聞き過ぎ、台場へ着くころには美味しい料理に舌つみをしなが

ら宴会は大いに盛り上がり親交を深めていました。今回の屋形船には若い組合員の姿も多くみられ家族連れの子供の参加も多く、これを機会に組合活動に参加する事を期待しております。会場は屋形船の銀座と噂されているように屋形船が多く停泊しておりました。私たちの船も周りの景色を大いに楽しみながら時間を過ごし帰路につきました。船宿に着く前にみんなで一本締めをして宴会は終わりました。船宿に着いた時のみんなの顔は満足した様子でした。これで拡大イベント屋形船報告書とします。

深中分会 越原 信夫

分会リレートーク



大島分会 菅野虎之助さん

大島分会の菅野虎之助さんは昭和12年に福島県二本松市で産声をあげました。(現在81歳)二松市というところが、酒癖の悪い親方が

嫌いで2年で一度田舎へ帰りましたが、大工仕事が好きでまた東京にきました。その後約4年間修業をして20歳の頃独立をし、今の大島で暮らすようになりました。

66年間大工一筋で今も現役で働きながら群長として住宅デ・朝宣・集会・拡大行動等、組合運動全般に参加し、大島分会になくてはならない一人として協力をしてきています。これからも健康第一に組合運動に参加し続けていきたいと思います。

少しづつ完成 大島分会 寺内 博